

令和4年 病害虫防除指導情報 第10号

作物名：ぶどう

病害虫名：褐斑病、晩腐病、べと病

今年は、県南地域で褐斑病及び晩腐病、津軽地域でべと病の発生が多く見られました。来年の伝染源とならないよう、被害落葉や架線の巻きひげの処分など、耕種の防除を徹底しましょう。

1 発生状況等

(1) 褐斑病（県南地域、キャンベル・アーリー）

8月下旬の巡回調査では、発病葉率、発病度ともに平年より高かった（表1）。発病は5園地全てで見られ、甚発生園もあった。

表1 8月下旬調査における褐斑病の発生状況（品種：キャンベル・アーリー）

地域	年次	調査園地数	発生程度別園地率（%）					発生園地率（%）	発病葉率（%）	発病度
			甚	多	中	少	無			
県南	本年	5	20.0	0	40.0	40.0	0	100	24.80	12.55
	前年	6	0	33.3	0	50.0	16.7	83.3	19.83	6.96
	平年	6	0	17.6	18.1	37.4	26.9	73.1	13.69	4.89

注) 1 発生程度：甚 発病葉率71%以上、多 同31～70%、中 同11～30%、少 同10%以下

2 調査方法：新梢10本について、基部葉から連続10葉における発病葉数を発病程度別に調査

(2) 晩腐病（県南地域、キャンベル・アーリー）

8月下旬の巡回調査では、発病果房率、発病度ともに平年より高かった（表2）。発病は5園地中4園地で見られ、甚発生園もあった。

表2 8月下旬調査における晩腐病の発生状況（品種：キャンベル・アーリー）

地域	年次	調査園地数	発生程度別園地率（%）					発生園地率（%）	発病果房率（%）	発病度
			甚	多	中	少	無			
県南	本年	5	40.0	0	20.0	20.0	20.0	80.0	36.00	15.75
	前年	6	0	0	33.3	50.0	16.7	83.3	9.50	3.92
	平年	6	0	0	6.7	44.6	48.8	51.2	2.56	0.90

注) 1 発生程度：甚 発病果房率51%以上、多 同31～50%、中 同11～30%、少 同10%以下

2 調査方法：100果房における果粒の発病を発病程度別に調査

(3) べと病（津軽地域、スチューベン）

9月中旬の巡回調査では、発病葉率、発病度ともに平年より高かった（表3）。発病は6園地中5園地で見られ、甚発生園もあった。なお、果房における発病はいずれの園地とも認められなかった。

表3 9月中旬調査におけるべと病（葉）の発生状況（品種：スチューベン）

地域	年次	調査園地数	発生程度別園地率（%）					発生園地率（%）	発病葉率（%）	発病度
			甚	多	中	少	無			
津軽	本年	6	33.3	0	16.7	33.3	16.7	83.3	25.83	15.67
	前年	6	0	0	0	0	100	0	0	0
	平年	6	3.7	1.9	11.1	22.2	61.1	38.9	6.20	2.41

注) 1 平年：過去9か年の平均値

2 発生程度：甚 発病葉率51%以上、多 同31～50%、中 同11～30%、少 同10%以下

3 調査方法：新梢10本について、基部葉から連続10葉における発病葉数を発病程度別に調査



図1 各病害の写真

【 左：褐斑病（葉表）、 中央：晩腐病（果房）、 右：べと病（葉裏） 】

2 防除対策

(1) 褐斑病

- ・被害落葉は集めて土中に埋める。また、枝幹部の粗皮はぎを行う。
- ・樹勢の衰弱している樹に発生が多いので、肥培管理に注意して、樹勢の維持に務める。

(2) 晩腐病

- ・越冬源となる架線の巻きひげ、成り跡、被害枝の切り取り、剪定枝の処分などの作業を徹底する。
- ・園地内の排水や通風を良くし、過湿にならないようにする。
- ・次年の「休眠期（4月中旬）」は重要な防除時期であるので、薬剤は樹体に十分かかるように丁寧に散布する。

(3) べと病

- ・被害落葉は集めて処分する。
- ・排水不良園では、排水溝を掘って、雨水が長く溜まらないようにする。
- ・軟弱な生育を避けるために、窒素肥料を施用し過ぎない。
- ・発生の多い園地では、次年の「新梢伸長期（約20cm）」から「8月上旬」まで毎回、べと病に有効な薬剤を使用する。

★農薬を使用する際には必ず最新の農薬登録情報を確認してください★

農林水産省「農薬情報提供システム」
<https://pesticide.maff.go.jp/>
 (独)農林水産消費安全技術センター「農薬登録情報・速報」
<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/index/index.html>

《当情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6
 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900
 E-mail:byogaichu@pref.aomori.lg.jp 担当:主査 齊藤景子